

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 40 号	氏名	吉岡 寿麻子
学 位 審 査 委 員	主 査	松山 俊文	
	副 査	小路 武彦	
	副 査	高橋 晴雄	
論文審査の結果の要旨 1. 研究目的の評価 特発性間質性肺炎の中で usual interstitial pneumonia (UIP) と nonspecific interstitial pneumonia (NSIP) の二つは代表的な疾患であるが、予後や治療反応性に大きな差があり、それらの鑑別が重要になっている。この研究では、これらの病態に関わると予想されている液性因子のうちの CC ケモカインについて検討したものであり、目的は十分に妥当である。 2. 研究手法に関する評価 対象としたのは UIP 20 名、NSIP 15 名、肺サルコイドーシス 22 名、健常人 12 名であり、それぞれの疾患群は全例外科的肺生検により病理学的に診断がつけられている。全ての群で気管支肺胞洗浄液を回収し、その中に含まれる細胞数、細胞分画、上清中の CC ケモカイン濃度を測定し、臨床像との関連について検討した。これらの手法は臨床研究において標準的なものと評価できる。 3. 解析・考察の評価 頻度として高いとは言えない症例を集め解析を行った点は大いに評価できる。解析の結果、NSIP においては気管支肺胞洗浄液に含まれる RANTES と MCP-1 の著明な増加が明らかになった。NSIP では種々の液性因子の異常が指摘されているが、本研究結果もそれを裏付けるものであり、今後の発展が期待できる。審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			